全女にむけて、学習会

第71期第1回全国女性活動者会議が2月8・9日、広島県福山人権交流センターでおこなわれ、和歌山からは山本昌代・女性対策部長、宮本睦・事務局長・担当事務局の3人が参加した。

山崎鈴子・女性運動部長が、女性差別撤廃条約の批准から30年、北京フォームから20年、部落地名総鑑発覚から40年、戦後の課題と成果を明らかにして、第60回全国女性集会をこの広島の地で開催する。この2日間の活動者会議をとおして全国女性集会について議論をし、広島全女を成功させようと呼びかけた。

男女共同参画審議会の報告が奈良、和歌山、大阪、広島、鳥取、徳島からされた。委員には有識者が多く、マイノリティからの参画がされていない。第3次男女共同参画基本計画の第8分野の4について担当の法務省がなにも知らないことなどが報告された。

各都府県連の活動発表で、和歌山から青年部と「デートDV・DV」について合同の学習会にとりくむことを報告した。

2日目は学習会①「眠れる大地―「地図から消された島」大久野島の歴史に学ぶと題して山内静代・毒ガス島歴史研究所代表が、大久野島で毒ガスが製造されたのは85年前、しかし今でも後遺症に苦しみ、環境を汚染している。毒ガス、原爆、原子力はいつまでも人類と環境に悪影響を及ぼしつづけることを忘れてはならないと語った。

学習会②広島法務局幹部の差別助長発言と「部落地名総鑑」発覚40年を、岡田英治・広島県連副委員長が、広島の差別事件のとりくみが報告された。

第60回全国女性集会は2015年5月16・17日、ふくやま芸術文化ホールリーデンローズを主会場にひらかれる。

広島全女を成功させようと
あいさつする山崎・女性運動部長

審議会報告する
宮本・事務局長

活動報告する
山本・対策部長

今後の日程

（3月）

3／25　和歌山市ブロック学習会（プラザホープ）
3／26　中執会議（大阪市）
3／29　いしもと一也事務所びらき

（4月）

4／3　県議会議員選挙告示日
4／10　県議会議員選挙投票日
4／21　市町村議会議員告示日
4／23　狭山ビラ統一行動
4／26　市町村議会議員投票日
4／27　起草委員会
4／29　メーデー和歌山県中央集会（和歌山県立体育館）
女性対策部会議・全女事前学習会
女性部長会議（同和企業センター）

（各支部大会）

3／28　伏原
4／25　古和田、平井女性部

日々の暮らしのなかでも約束を

3月14日、岩橋児童館で和歌山市男女共生出前講座がひらかれ、和歌山市内の女性部・青年部約60人が参加した。

平田謙司・市民部長のあいさつのあと、社会保険労務士でキャリアアドバイザーの吉岡恭子さんを講師に「働くとき、約束するとき知っておきたい基礎知識」として、アサーションや労働法について学んだ。アサーションとは、アメリカで生まれ、移民や黒人、女性、英語が話せない人など、差別を受けたり立場の弱い人たちが働くときに苦労することから生まれたコミュニケーション技法のひとつ。立場にかかわらず「イエス」だけでなく「ノー」と言えるようになるためのトレーニングだ。最近では、看護師や介護士、学校の先生、医者、保育士など対人関係や人とのコミュニケーションが大切な仕事についている人たちが組織的に学ぶことが増えている。働きはじめるときには、労働契約を書面で提示してもらうことが大事で、働いているときになにか困ったことがあっても、すぐに退職を選ぶのではなく、けっして自分で勝手に判断せず、まず相談することが重要と強調された。また「ノー」といってはっきり断るというワークショップでは、過去に「ノー」といえない場面があったかを「誰に・どんなとき・どう思ったか」という設問で紙に書き、感想を言い合った。そうしたなかで、相手を大切に「ノー」というポイントとして、なにについて「ノー」なのかはっきりする、勇気をもって、自分はどうしたいのか、くどくどいわない、必要なときは態度で示すことなどを教わった。最後に、働くときだけではなく、男性も女性も日々の暮らしのなかで「約束」を大事に活かしていくことと結んで、出前講座を修了した。

吉岡恭子さん

熱心に聞き入る参加者

中澤委員長を偲ぶ会をひらきます

昨年12月23日に逝去した中澤敏浩委員長の偲ぶ会を5月14日、市民会館でひらきます。委員長がこれまで歩んだ解放運動の軌跡を『追悼集』（仮称）として出版します。『追悼集』には、これまでの委員長の足跡をたどるべく、多くの写真を掲載します。どんな写真でもかまいません。委員長との思い出の写真を県連・教宣部まで集約をお願いします。

◆中澤敏浩委員長を偲ぶ会（仮称）
日時　5月14日　14時～
場所　和歌山市民会館
主催　県連・企業連・杭ノ瀬支部

青年部、青少年課話し合い

和歌山ビッグ愛8階消費生活センターで2月8日、県連青年部と県環境生活部青少年課との話し合いをした。県連から藤本哲史・書記長をはじめ、青年部21人が参加。県から山崎良彦・男女共同参画課局長はじめ、6人が出席した。

交流会では、各地域の就労について「働く気はあるが働く場所がない」「地域に根ざした解放運動をしたいが、働く場所を求めて大阪や東京へ行かざるをえない」と現状を訴えた。また地域で働いたとしても、重労働で身体をむしばんでしまうなどの現状がだされた。県は、誘致企業の募集はないが、今日の意見は各担当部局に伝えるとあいさつした。

支局からのお知らせ

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！　写真を添えて支局までお送り下さい。

お気軽にお電話を！

（発送先）〒640-8314
和歌山市神前405-3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛